

# 新入幼兒のむかへ方



東京市 大和郷幼稚園 坂 内 ミ ツ

## 一、新入園児の姓名をよく覚えて置く事

子供の心が漸く手にはいつて何のこたはりも無くなつた。子供同志もよく遊び各々自分を發揮して愉快此上もなく進んで居る。歸る時間を恨めしがり歸すに世話の焼ける時期になつた、と思ふこともう小學校に送り込まねばならぬ。小學校もそれ／＼決定して一安心と思ふ間もなく新入園児を迎へる心構をせねばならぬ。一年中の最も骨の折れる時である。其心構するにはいろいろの注意が要ると思ふ一言でいひつくすならば誠心誠意全力を擧げて新人園児の事を考へる事である技巧や經驗で實績を擧げる事は出来ない。其誠心誠意のほごばしる所を具體的に申すならば

お茶の水のやうに入園を許可する前に檢定をする處では、入園前に顔を見ておくの三十幾度も姓名を書きつけるのこで姓名も記憶すれば顔も覺えるので、入園第一日にすぐ名を呼ばれる人が三分の二はあるのであるが、檢定しない園ではそれは出来ない。せめて姓名を暗記しておいて二三日の中には名を見ずに呼び度いものである。自分の受持の組の幼兒の姓名を二三日で覺える事が出来ないでは保姆の資格がないといつてもよい位である。尙全園の幼兒の名を全體の先生がすぐ覺えるやうにしたいものである。これ

が親しみを感じさせる一大秘訣である。

専門學校を卒業した人でさへ「誰先生は熱心に教へて下さるよい先生だが名前をちつとも覚えて下さらないので淋しい」<sup>いひ</sup>或人は「入學當時はからず名を呼ばれそれ以來其先生に格別心服した」<sup>いふ</sup>例は少くないのである。況して幼い子供がはじめて他人のなかに出て生活するので不安を感じて居るに相違ないのであるから、親しみを以て迎へるのが何よりの事である。

## 二、帽子かけ、靴置場、子供の持物を知つて置く事

快く幼児を玄關に迎へても、扱て靴の置場はごこ、帽子かけはごこ、ミ探して居るやうでは間に合はぬばかりか幼児を落膽させる。又子供が見えませんか訴へていつた時に、ごんな帽子でしたかミ問ひ返されては悲しくなるにきまつて居る。先生は何んでも知つて居るミ信頼させねばならぬ。

## 三、話題を豊かに持つて居る事

幼児の見界は極めて狭いのであるから話題の範圍が極めて狭い。其内でよく話題を見つけねばならぬ、幼児の一番

好む話題は自分の両親の事、兄弟の事、家族の事、自分の生れた月日、自分の近所の事、自分の好む遊び等で自分に關係ある事でもある。これ等も出来る限り一人一人について覚えておく必要がある。學籍簿を書くにも空には書かず心して書いて置いて話題の助けにせねばならぬ。

保姆として就職して初めの事、さうしても口を利かぬお嬢さんがあつた。何を聞いても口を利かぬ。いろ／＼苦心して見たが效がない、暫くしてふミ氣がついて其人の弟の事について話しかけた處ハツキリミ、武雄さんが、ミ話しはじめた。其時のうれしさ、それ以來口を利く人になつた。年中口を利かない<sup>いふ</sup>人はないが、弟さんの話が其時期を早めた事は事實である。

こうした通俗的な事を早く知る事、覺えたら忘れぬ事は一見つまらぬ事のやうであるが實際生活には必要な事である。定義や定理はよく覺えられるが常識的の事に疎い人もある。又定義や定理は覺えられぬ、覺えてもすぐ忘れるが常識的の事なら忘れない、<sup>いふ</sup>人もある。學者になるには前者でなければならぬが實際家殊に保姆になるには後者

の方が適任のやうに思はれる。けれども常識にのみ走つて學理を好まず自己の向上をはからない人では實績をあける事の出来ない事は申すまでもない。

#### 四、入園第一日快い第一印象を與へる事

園内外の設備を快くし玩具なども豊富に備へておく事は勿論であるが、はじめて知らぬ所に連れて來られた幼児には、其第一日にそんなものに迄心が向かぬ。快いといふ感じを與へ得たら大成功である。それには何にしても人より受ける感じが第一である、職員全部小使に至るまで全身全意新入園児を歓迎する事にのみ没頭しなければならぬ。誠意は以心傳心、自ら通ずるものである。先生の方は精一つばいにつくしても一人一人の幼児の受ける感じは其何十分一のにしか當らない事を常に忘れてはならない。

#### 五、玩具の種類を考へる事

同一年齡の幼児を入園させる事が理想的であるが、多くの園では一年保育も二年保育も三年保育も同時に希望して來るのが常である。親の考もあり兄弟揃つてこいふ事もあつて拒む事がむづかしい。又實際一年保育の必要も感ぜら

るゝのである。このやうに年齡に差あれば遊ぶ玩具にも差がある筈である。三年保育は何といつても子供であるから普通家庭で用ゐるやうな玩具、人形動物の人形ぜんまい仕掛の動く玩具コマ等で動かす事も獨では出來ず大人にして貰つて眺めて居る程度である。一年保育は主として自分が使用して遊ぶもの毬風船たゝみ紙大積木等であるが、室内の遊よりは室外の運動を好むので杵登、砂場、鬼ごき等が最も喜ばれる。二年保育にありては大きい方は一年保育に近く小さい方は三年保育に近い。積木は最も喜ばれるものでも有がたいと思はせられる。繪本は誰にも喜ばれ好かれるものであるが年齡によつて種類を考へ内容を調べねばならない。これ等の玩具は常に整理して置いて登園すぐに遊びつかれるやうにしておかねばならぬ。陳列に止つてはならぬ。裝飾用のものは又別の目的があるのでそれに相當したものを選ぶべきである。

以上のやうに年齡によつて考へてよいのであるが、年齡よりも入園前の境遇によつて遊び方に大差があるものである。一般に注意深過ぎる家庭では家の内ばかり遊ばせて

大人が相手になり子供同志遊ばせないから、友達と遊べば好む玩具の種類も異なるもので概して心身共に弱いのである。これを急に強くする事は困難であるが、早く見抜いてはじめは其子供の好むやうにし、追々誘導して心身を強くするやうに心掛けねばならぬ。

#### 六、早く友だちを見つけて上げる事

友だちさへ出来れば幼稚園が面白くなり、好きになり我が物として遊ぶ事が出来るのである。それには、第一早く性質を見抜く事、第二早く其境遇を知る事である。子供同志共鳴して居るやうな點が少しでも見出されたら先生は其楔となつて早く結びつける事、一人子や大人のなかでばかり遊ばせて貰つて友達と遊んだ事のない子供は同じ様な境遇に通つた性質の人を見出し先生も其仲間に入つて遊ばせる事である。そうするには附添よりはなれない人は暫く忍んで後まはしにするより外はないと思ふ。

#### 七、遊びの種類を多く知つて居る事

遊べない子供を遊ばせるには何をさせたらよいから早く其方法に氣がつかねばならぬ。遊ばせる遊びの種類を澤山知

つて居つてもこの場合何が適當かを考へるゝ出て來ない。詮方なく面白い事をして遊びませうと繪本を讀みませう位になつて仕舞ふ事が多い。むづかつて居る子供があつたらすぐ其邊に居る二三人の人を集めて手を出させ「さのおせんべいが焼けたかな」先生が大量になつて本氣であれば心機一轉するのである。少し人數の多い場合には大きい組の子供の間にに入れて「花一もんめ」、「夜か晝か」、「さくらく」などをさせる夢中で遊ぶやうになる。其他雨の日、人數の多少、午前午後等異つた場合に適當な遊びを思つくには、先づ遊びの種類を澤山心得て置かねばならぬ。

#### 八、附添よりはなれぬ子供は氣長に取扱ふ事

附添よりはなして保育するのが理想ではあるが、何しろ満三歳や四歳の子供が急激に變つた生活をするのであるからなれないのも無理のない事である。其はなれないのも我儘の爲め、氣が弱く心細い爲めとある事を見抜かねばならぬ。こうした子供には第一親に根氣負けをせぬやう注意せねばならぬ。先生はあの人もこの人も心配して居

るからまだ紛れもすれぎ、親は我が子獨りを見守るのであるから氣が揉めて堪らず根氣負けて退園させる例も少くない。そんなにはなれぬ人でも二三ヶ月の後まではなれぬ人はないし自分から遊べぬ人はないのであるが、其始は何時になつたら、手にはいるかと思ふ氣が氣でなく早く早くあせつて遂ひ特別の手段を講ずるやうになるのであるが、特別の子供は例外として一般の子供は氣長に時期を待つて其間に時期をはづさず、特別に時間と意を用ひて手に入れる事に留意せねばならぬ。其時期を見透すのが一大手腕である。

かくて數々の注意として園児を迎へた上は、幼稚園の使

命を家庭の方にもよく理解して貰はねばならぬ。其内で一番大事な事は保育といふ事は幼稚園の玄關に入る直ぐにはじまり、玄關より送り出すまで間斷なくつゞくものである事、従つて幼稚園内はごでも保育の場合であつて廊下でも庭の隅でも等しく保育室である事を心得て貰う事である。こもすれば所謂保育室、だけを教場の如く考へて大事な運動場や遊戯室なごを子守の場所のやうに誤解される事のあるのは迷惑至極な事である。これ畢竟世間一般の人が幼稚園といふものを理解して居ない爲めである。一人でも多くの理解ある人を得る事は又我等の大切な使命であらねばならぬと思ふのである。



東京市番町小學校附屬幼稚園

檜 山 京

手續、入園希望者は、願書用紙を幼稚園から受取り各欄へ記入の上麴町區役所で照會の捺印を受けたものを幼稚園に出し、園から定められた日に校醫の健康診斷を受けて入園許可といふ事になります、トラホーム、濕疹其他傳染性

の病氣は治療をすゝめ全快してから入園を許可する事になつて居ります、なほ區役所の照會といふのは年齢證明の爲なので區内に籍のない者は證明出来ない事になります。

保護者會、右の手續がすみます三月の中に新入園児保